

宮城県加美農業高等学校

令和2年1月に取得したJGAP認証の維持に取り組むとともに、GAPの取組を活かして、県の育成品種「金のいぶき」の香港への輸出に挑戦。

代表者名：阿部 幸弘
所在地：宮城県加美郡色麻町
認証：JGAP(R2年)

面積：12ha
構成員：16名
品目：米(玄米)

取組の紹介

【生産工程管理の改善に向けた取組】

- 栽培から出荷までの各作業工程のリスクを洗い出し、その改善や修繕方法の検討から実施までを生徒自らが実行。作業手順やルールを明確化して施設内に掲示するなどにより、リスク軽減や作業の効率化を実現。



作業舎へのルールの掲示

【経営改善に向けた取組及び効果】

- 地元の農協や道の駅への出荷に加え、認証取得を契機に、県内のスーパーマーケットとの取引を開始。店舗での通常販売と併せて、店頭で「加美農米(GAP認証米)」のイベント販売を行い、消費者に向けてGAPの取組や認証農産物を紹介。
- 認証取得により生徒の取組や農産物の信頼性が向上。販路拡大を目指し、県内の米穀販売・加工会社へGAPの取組を紹介しながら、輸出に向けた商談を開始した結果、玄米食向け品種「金のいぶき」1tを香港へ輸出することが決定。



輸出に向けたオンライン打ち合わせ

【地域の牽引役としての貢献】

- 県内の農業高校初のGAP認証取得農場として、視察の受け入れや認証審査の公開に協力し、県内の生産者や農業関係者等のGAPに関する知識習得に貢献。
- 地域の小中一貫校に出前授業を行い、未来の農業後継者へGAPを紹介。



GAP指導者養成研修会

ホームページ